



学校だより No.12
札幌市立稲穂小学校
平成30年2月28日(水)

「負けるが価値」

保健主事

冬のスポーツ祭典、冬季オリンピック平昌（ピョンチャン）大会では、日本人の大活躍が放映されました。競技をしている映像を見ているのも好きな私ですが、その後のインタビューや五輪代表になるまでの生き方を聞くことも大好きです。

今年度、本校では有名なスポーツ選手や指導者を本校にお迎えし、子どもたちに講話していただく機会に恵まれ、大変うれしく思うことができました。レバンガ北海道の桜井選手、エスポラーダ北海道の小野寺監督・三浦選手。カーリングの元五輪代表のL S 北見の船山弓枝選手の4名の方です。その中で共通して言えることは、プロ選手として、日本代表として出場する選手ですから、華やかな競技人生を送っているように見えますが、挫折を乗り越え「努力」によって今の自分があることです。

平昌五輪直前の2月9日（金）に、「オリンピック・パラリンピック研究推進事業」として船山選手のお話を聞くことができました。その中で印象に残っていることは、「負けたらそれを受け入れ、そこから学ぶこと」です。

負けた試合から自分を振り返り、「負けた原因は何なのか」、「今後の練習をどうするか」、といことにつきますと思います。結果がでないときに何を考え、何を学ぶかではないでしょうか。このように「負け」から学ぶ機会に恵まれたことは、大きく成長するエネルギーとなってくれるはずです。言うなれば「負けるが価値」です。

オリンピック選手に全ての人間がなれるわけではありませんが、自分の目標とする「こころざしを強くもち続ける」ことで、新たな道が開かれます。負けることの中にも「価値」があると考え、努力を続けることこそ、人として成長していく宝物が隠されていると思います。

学校では、これから一年間のまとめの時期に入ります。一年間を振り返り新たな目標をもって進級・進学してほしいと願っています。

お願いとお知らせ

※今年度中に転出予定の方は、できるだけ早めに担任までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

* 放課後児童クラブのご案内

札幌市では「児童会館」や小学校内に整備している「ミニ児童会館」において『児童クラブ』を開設し、留守家庭のお子さんを対象に、遊びや生活を通じて児童の健全育成に努めています。詳しくお聞きしたい方は、稲穂児童会館（684-0901）にお問い合わせください。

転出の際のお礼の品や、（長期休業中などの）旅行後のお土産などを学級の子どもたちに渡したいという申し出が時々ございますが、学校ではそのようなお気遣いはなさらないようお願いしております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。